

令和6年度 和泉市男女共同参画審議会の振り返りについて

NO	委員意見・質問等	回答	所管課
1	女性委員比率 40%以上を目標とされているが、クリアしていない場合はどのような理由があるのか、今後どうするのか。	(当日回答) 条例や規則上、団体の「長」に充てている場合があり、団体の長に男性が多いため限定されてしまう。また、女性が少ない専門分野等などでは、ひとりの女性に複数の市の審議会から依頼が集中してしまうケースもある。事前協議の中で、担当者が委員選定理由等の聞き取りや、次回の選任時に規則改正や条例改正の可能性も含め各現場に対して検討提案している。	人権・男女参画室
2	団体の長に男性が多いことも含めて、もっと女性を多くする等、取組を行っているのか。	(当日回答) 現在、和泉市の管理職員の割合が 20%を下回っていて、まずは 20%に持っていこうと頑張っている。それと同じような取組を市内の企業や団体に対して呼びかけているところではあるが、浸透出来ていないのが原因としてあるのではないかと認識している。	人権・男女参画室
3	事業番号15「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用」の実施状況（事業報告）について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充し、子育て支援室やこども家庭センターと連携して必要な支援を行うというのは、今年度の方向・方針か。保護者の相談対応をソーシャルワーカーが行うことで教師の負担軽減を図り、成り手不足を解消するといった理解でよいのか。	(後日回答) スクールカウンセラーとは、児童生徒へのカウンセリング、保護者や教職員に心理的知見からの助言、援助を行う心理の専門家である。スクールソーシャルワーカーとは、課題を抱える児童生徒と、児童生徒が置かれた環境への働きかけなどを行う福祉の専門家である。これまでの取組みを今年度も継続するものとはなるが、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充し、心理面、環境面から児童生徒を支援することにより、不登校への適切な対応、問題行動の減少につなげていく。 結果として、教員の負担軽減につながるという認識である。	学校教育室

NO	委員意見・質問等	回答	所管課
4	事業番号91「リプロダクティブ・ヘルス」の実施状況（事業報告）について、子どもを育てている若い両親、これから親になる若い人たちのニーズとはどのようなものか。イメージを持ってもらえるようなきっかけとは具体的にはどのようなものなのか。	（後日回答） 少子化や核家族化などで子育てや健康管理に関するイメージや基本的知識が十分でなく、インターネットなどで情報を収集することはできても疑問や問題について相談できなかつたり、実践的なスキルを習得する機会が少ないと考えられる。 両親教室などを活用し、妊娠中から子育て中の親と交流することで具体的な情報やアドバイスを得ることができる。また子育て期では、交流会などのコミュニティに参加することで他の保護者と経験を共有し支えあう・つながりあうことができると考える。	健康づくり推進室
5	和泉市では女性総合相談窓口は委託しているのか。また、女性相談員は置いているのか。市の直営なのか。	（当日回答） 女性総合相談は、モアいずみで実施しており、カウンセリングはフェミニストカウンセリング堺に、弁護士相談は弁護士協会に委託している。女性相談員は、本庁に会計年度任用職員を配置している。	人権・男女参画室
6	会計年度任用職員の場合、基本的には1年で終わってしまい、不安定な要素がある。専門的な職で、DV相談や女性問題の相談などは中長期的な相談となるため、その期間で築かれた人間関係や相談内容が次に引き継がれるのか。和泉市だけの問題ではないが、相談窓口は重要なところなので、相談をどのように繋げていくのかその体制をどう作っていくかが重要だと思うのだが、市ではどう考えているのか。	（当日回答） 本市としても、相談に来られた方を中長期的に解決に導く仕組みづくりを、相談員の職種も含め検討していく。	人権・男女参画室

NO	質問・意見	回答	所管課
7	困難女性支援法ができ、大阪府では基本計画ができたと聞いているが、和泉市では、その問題がどのように扱われるのか。	(当日回答) オアシスプランの次期計画の中に、新たに項目を作成していきたいと考えている。	人権・男女 参画室